

平成 2 5 年 第 1 2 回

仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 2 5 年 1 1 月 2 1 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成25年第12回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成25年11月21日(木) 午後2時

2 場 所 角館庁舎 西側庁舎2階 第4会議室

3 出席委員

委員長	佐久間健一
委員長職務代理者	安部 哲男
委員	河原田 修
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	田中 宣男
教育次長兼教育指導課長	田口桂一郎
教育総務課長	畠山 靖
生涯学習課長	成田 祐子
スポーツ振興課長	田口 幸栄
文化財課長	小松 誠一
国民文化祭推進室長	草薨 悟
教育指導課参事	渡辺 久信
教育指導課参事兼北浦教育文化研究所長	鈴木 達朗
教育指導課参事兼田沢湖学校給食センター所長	稲田 正之
教育指導課参事兼角館学校給食センター所長	藤村 一栄
教育指導課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀 京子
生涯学習課参事兼角館公民館長	本田 俊彦
生涯学習課参事兼田沢湖公民館長	戸村 和子
生涯学習課参事兼市民会館・田沢湖図書館長	藤原 眞榮
文化財課参事	中村 和彦
角館町平福記念美術館長	大楽 裕
学習資料館・イベント交流館長補佐	松橋幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第 20号 平成25年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第 40号 教育行政報告について

報告第 41号 仙北市就学指定校変更の許可について

報告第 42号 区域外就学の承認について

- 報告第 43号 仙北市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱制定について
- (3) 仙北市教育委員会委員長の選挙について
 - (4) 仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について

6 審議の経過及び結果

(佐久間委員長)

ただ今から、平成25年第12回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

私事ではありますが、この前の臨時議会で教育委員再任ということになりました。長くもなっていることですし、今期でとっておりました。また皆さんにご迷惑をおかけしますがよろしく願いいたします。

それでは、次第により会議を進めさせていただきます。書記には高倉参事、栗原主任を任命いたします。議事録署名は、河原田委員と坂本委員をお願いいたします。

次第の3にあります前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

次第4、委員長挨拶であります。座ったままで失礼をいたします。この前全県の教育委員長、教育長会議が開催され、各地域と学校の役割について話し合いが行われました。教育再生実行会議の概要についてもお話がありました。途中経過ではありますが、これから実行会議の詳しい内容が出てくるというようなことでございます。首長が、教育委員会を指導していくという立場についての議論が、かなり積極的に行われている話がありました。色々な法律改正もあると思います。色々なことができ次第、お話が出てくると思いますのでよろしく願いいたします。特に県からの説明の中で、内陸線を使った学校間の交流をしていただきたい、というお話がありました。義務教育課長のお話の中にそういうのがありました。私達は前から交流をしてきましたが、全県的に教育委員会も含めて活発な使用をお願いしたいということでございました。種苗交換会が盛会に終わりました、ご苦労さまでした。特に学校、団体が協賛ということで、大変素晴らしかったということでした。私も数日間通ってみました。市民会館に足を運んだとき、私の3列目に座ったご婦人の方が、途中体調が悪くなってしまうりましたが、会館の職員、実行委員会の職員の方々でしようが非常に良く対応をしてくださいました。何があったか解らないように、さっと行動をしていました。連携プレーが見事でありました。ここで皆さんにご紹介をして、感謝と敬意を表したいと思います。大仙仙北美郷教育委員会連絡会の研修会があり、皆さん大変ご苦労さんでした。3団体で連携をとっていかなければならないことが、多く出てくると思います。色々な面で大曲仙北、昔からの仲間ですので交流会を持って、対応をしてもらいたいと思います。秋田市で次々と、給食に異物の混入があったと新聞で報道されました。一瞬も気持ちの休まらない、調理場の職員の皆さんに、更に食材、機材の点検等を頑張ってもらいたいと思います。以上で私から感じたことを含めて、挨拶に替えさせていただきます。

次に教育長の事務報告に移ります。

(熊谷教育長)

事務報告の前に、先ほど委員長からお話がありました、内陸線を使って交流をという話が、吉川義務教育課長の方からお話がありました。今日も内陸線を使って、前田小学校が、文化財の色々な視察研修に来まして、私も顔を出してきました。そういう形で大いに、子ども達の交流を進めて参りたいと思っております。先日の大仙仙北美郷教育委員会連絡会は、あり

がとうございました。大変おもてなしが良くて良かったということでした。来年は美郷町ですけれども、お互いに積極的に交流して参りたいと思います。

それでは、11月の定例会教育委員会事務報告をいたします。10月24日、臨時議会がございました。25日、戸沢サミットin高萩市があり、市長、私、成田課長と担当で行ってきました。27日、楽しい読書フェスタということで、市民会館で行われました。全県の司書関係の先生方の集まりであります。28日、モーグル大会実行委員会であります。来年度からワールドカップモーグルが3年連続で始まり、大変な事業になると思われまます。29日、大曲仙北教育研究会で桜木内小中、生保内小中学校の子ども達も活躍しております。31日、新穀感謝農民祭並びに開会式でいよいよこの日から、種苗交換会が開催されました。ただ今委員長からもお話がありましたが、特に小学校が活躍しておりました。角館小学校の学校農園展の県教育長賞、各賞を受賞するなど子ども達が頑張っておられ、市長からもお褒めの言葉がありました。11月1日、全州市町村教育委員長、教育長会議がありました。5日、大分県佐伯市から教育行政視察がありました。12日、鈴鹿市議会から教育行政視察がございました。今月も沢山の視察においていただいております。だいたい小学校を視察いただいて、後は私どもでご説明するということですが、大変素晴らしいということで議員だけでなく、現場の校長を連れてきたり、教育委員会の職員を連れてきたいとお話もありました。13日、仙北市教育研究会が、神代小中学校でございました。教育委員の皆様本当にありがとうございます。3回目になります。これまでの中でも、もっとも研究が深まった研究会ではなかったかなと自負しています。15日、大仙仙北美郷教育委員会連絡会がございました。これも活発な論議、情報交換会、懇談会で内容のあるものだったと思っております。19日、学校安全表彰受賞祝賀会ということで、田沢湖防犯巡回隊がこの度の文部科学大臣表彰になったという、大変盛大な受賞祝賀会がございました。21日、本日の定例会でございます。今後の行事予定でございますが、22日、総務文教常任委員会協議会でございます。24日、この後皆様にご協力をいただくこととなりますが、荒木田裕子先生の講演会があります。先日、角南の方でも行われましたけれども、今回は、中学生を主たる対象ということで、教育的なお話がいただけるのではと思います。今後の学校関係行事予定として11月30日、児童生徒県南美術展出品作品審査会があります。以上でございます。

(教育長が、上記内容等について、資料に基づき説明する。)

(佐久間委員長)

教育長の事務報告が終わりました。ご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

教育長の事務報告を承認することにいたします。

(佐久間委員長)

議案審議に入ります。

議案第20号を議題といたします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山教育総務課長)

議案第20号平成25年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明します。

(畠山教育総務課長、田口スポーツ振興課長、小松文化財課長、大楽平福記念美術館長が、補正予算について、資料に基づき説明する。)

(佐久間委員長)

説明が終わりました。質疑に入ります。ご質問ございませんか。

藤あや子展について、もう少し経緯とかまた主催するのはどこなのか話してください。

(大楽平福記念美術館長)

角館出身の藤あや子さんが、絵とか陶器の造詣が深いということで地元の美術館で展示会を行い、仙北市の力になりたいという申し出がございまして、仙北市も藤あや子さんの今後を応援したいという意味も込めまして、来年4月1日から20日まで開催することとしたものです。

(佐久間委員長)

入館料はいくらですか。

(大楽平福記念美術館長)

通常と同じ300円で、仙北市民は無料となります。

(佐久間委員長)

私の予想ですけれど、議会で詳しく聞かれると思いますので、もう少し詳しくお話ください。

(大楽平福記念美術館長)

藤あや子さんは、広告宣伝等もなるべくしないよう後援依頼をなるべく押さえて開催する予定です。

(佐久間委員長)

会期中は本人もこられますか。

(大楽平福記念美術館長)

4月1日のオープニングに来る予定です。

(安部委員)

主催はどこですか。

(大楽平福記念美術館長)

仙北市です。平福記念美術館の企画展の一環として開催されます。

(佐久間委員長)

作品は何点くらいありますか。

(大楽平福記念美術館長)

およそ絵と陶器を含めまして60点です。

(熊谷教育長)

八ヶ岳に「ギャラリー彩」という展示場を持っています。なんといっても仙北市が生んだ、素晴らしい歌手ですから、頑張ってやっていきたいと思っています。

(安部委員)

今の藤あや子展についても、仙北市、角館のために頑張りたいという気持ちであると思いますので、チラシを作成する際には、是非藤あや子さんの気持ちが伝わるようなチラシを出していただきたいと思います。

(佐久間委員長)

ほかにご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

質問がないようですので、議案第20号を採決いたしますが、本案について可決することにご意義ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

議案第20号は、提案のとおり可決することに決定いたしました。

(佐久間委員長)

次に、報告事項に入ります。報告第40号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田中部長)

報告第40号の教育行政報告について報告いたします。

(田中教育部長が、以下の教育行政報告について、資料に基づき説明する。)

◇「平成25年度優良PTA文部科学大臣表彰」受賞について

◇第31回学校農園展表彰について

◇仙北市小中学校教育研究会の開催について

◇戸沢サミットについて

◇荒木田裕子氏講演会の開催について

◇文化講演会について

◇各種イベント等について

◇2014フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会

◇秋の火災予防運動防災訓練の実施について

◇公開施設事業の終了について

◇「平福百穂没後80年展」について

◇「郷土画人の屏風展」について

◇「児童生徒県南美術展」について

◇アートdeまちあるきプレイベントの閉幕について

(佐久間委員長)

部長からの報告が終わりました。ご意見等ございませんか。

(安部委員)

質問を含めてご報告、要望になると思います。まず教育指導課の仙北市小中学校教育研究会の開催についてです。先ほど教育長の報告にもありましたが、今回の研究会を私も見せていただきまして内容の濃い、レベルの高い研究会であったと思います。今までの中でこんなに素晴らしいレベルの会は、なかなかありませんでした。特に今回の目玉であります、小中学校の地域における小中連携というものがいかにあればよいのかという、研究の実践を発表したところはなかったなと私は思っております。公開施設事業の終了について、美術展は何

人くらい来たかわかりますか、もし解りましたら公開施設に何人くらい来ているのか教えてください。特に田沢湖郷土史料館は何人くらい来ているのか、将来私が勝手に考えていることですが、クニマス館なんかということもありますので、そういうのに関連を含めてお聞きしたいと思います。児童生徒県南美術展は、36回という歴史のある美術展ですので、これまでの開催意義とか、成果とかが一言あれば、ただの子どもの美術では終わらないような気がします。桧木内小学校では、この県南美術展のために、もう一度学校の中を美術館として展示して生かしている、そういう意味でも意義のある美術展だと思います。要望ですので検討してみてください。

(熊谷教育長)

安部委員の意見を生かして、検討させていただきます。

(佐久間委員長)

お答えられることがありましたら、お願いいたします。

(田中部長)

ただ今のは要望事項でございますので、課で、もう少し検討させていただいて教育行政報告に盛り込みたいと思います。

(佐久間委員長)

藤あや子展は、補正予算に計上されていますが、教育行政報告では触れませんか。

(田中部長)

冒頭の教育行政報告では、補正予算を計上していますので盛り込まないつもりでいます。明日の総務文教常任委員会で、予算関係でお話する予定です。

(河原田委員)

スポーツ振興課のフリースタイルスキーは、国内で猪苗代だけでやっているのですか。

(田口スポーツ振興課長)

ワールドカップは、前は苗場、白馬でやったことがあります。

(河原田委員)

2015年からワールドカップモーグルを田沢湖でやるということですが、国内では秋田県だけでやるということですか。

(田口スポーツ振興課長)

そうです。

(佐久間委員長)

前に雫石町で国際スキーの大会があったときは、町を上げて道路には英語で書いてあったりとすごかったです。

ほかにご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

報告第40号を提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

報告第40号は提案のとおり承認することに決定いたします。

引き続き報告第41号を議題といたします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第41号仙北市就学指定校変更の許可について報告します。

平成25年10月28日申請のあった指定校変更1件について、許可することとしましたので報告いたします。

—資料説明—

(佐久間委員長)

説明が終了しました。ご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

報告第41号を提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

報告第41号を提案のとおり承認することに決定いたします。

次に、報告第42号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第42号区域外就学の承認について報告します。

平成25年10月31日申請のあった区域外就学1件について承認しましたので報告いたします。

—資料説明—

(佐久間委員長)

説明が終了しました。ご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

報告第42号を提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

報告第42号を提案のとおり承認することに決定いたします。

続いて報告43号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(成田生涯学習課長)

報告第43号仙北市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱制定について説明させていただきます。この制度は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づくもので、第9条第2項に市町村は、子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画の策定に努めなければならないと記されております。秋田県内では、既に13市町村が策定済みでありまして、秋田県では2015年をめぐりに全市町村が策定することを明記しております。それを踏まえまして、仙北市子ども読書活動推進計画策定委員会を設置し進めて参りたいと考えております。

—資料説明—

(佐久間委員長)

説明が終了しました。ご質問ございませんか。

(安部委員)

推進計画を策定するための委員会だと思いますが、実際それを推進する人は誰なのか。要望ですが策定の委員になる人は、職員以外の若いお母さん方を入れて、地域の直接読書にかかわりのある方々、学識経験者でも良いでしょう。そのような方を入れてほしいという要望です。

(河原田委員)

読書活動推進計画を見て、去年も読書感想文コンクールの小冊子を貰って、素晴らしい読書感想文を書かれるんだなと感心しました。読書感想文コンクールをやっている角館図書館後援会との位置づけ、繋がりみたいなもので、お互い協力しあってもっと良いものができるような感じがするので、その辺をもう少し考えてもらえば良いと思います。

(成田生涯学習課長)

安部委員からの質問ですが、推進する人は誰なのかということですが、子ども達がいかに読書に親しんで、視野を広めて社会へ出るかということが目的です。その為には、仙北市の公共施設、図書館、学習資料館全て、学校地域において、どのように読書離れを食い止めるかということを考えるための企画調査するところだと私は見ております。一般の読書にかかわる親とかの意見を聞いた方が良いのではないかとということですが、その一つとしてアンケート調査をやってみたいと思っております。乳幼児をもつ親、保育園の先生方の意見、保育園に入っている子どもの親、学校の生徒、先生、それぞれのアンケート調査を行ってみたいと考えております。また図書館の後援会等ありますけれども、これから検討させていただきたいと思っております。

(安部委員)

さらに要望として、アンケート調査も大事ですが、直接生の声を聞くことも大事だと思いますので是非検討していただきたいと思っております。

(熊谷教育長)

子ども読書活動計画というのは、秋田県25市町村の内13市町村が、読書活動推進計画策定委員会設置要綱を制定しています。仙北市がずっとやってこなかったということで、読書活動推進計画は、読書活動を推進する上での上位の方の法律です。仙北市には、市民読書条例というのがありますが、市民の読書活動を推進するために市が頑張らなければいけない法律です。これも子ども達の読書活動を推進するための上位の法律なのです。

(安部委員)

趣旨は解りました。いよいよ推進するときは、市民全体の運動になれるようやってもらいたいと思っております。

(熊谷教育長)

十分に生かしてやっていきたいと思っております。

(佐久間委員長)

ほかにご質問ございませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

報告第43号を提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

報告第43号を提案のとおり承認することに決定いたします。

続いて(3)仙北市教育委員会委員長の選挙についてを議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山教育総務課長)

仙北市教育委員会委員長の選挙についてということで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で、「委員長の任期は、1年とする。ただし、再任されることができる。」となっておりますので、委員長の任期は、昨年に再任されていますが、また1年間の任期となり、12月1日から委員長の任期が始まりますので、委員長を決定していただきたいと思います。

委員長の選挙は無記名投票により行います。委員に異議がないときは、指名推薦を行いますとなっています。

(佐久間委員長)

事務局からお話がありました、委員長選挙は無記名投票選出、指名推薦とありますがいかがいたしますか。

(河原田委員)

指名推薦をお願いします。

(佐久間委員長)

指名推薦という発言がありますがいかがですか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

委員長選挙は、指名推薦という方法で行うことにいたします。それでは推薦していただきます。

(指名推薦により安部委員が、教育委員長に決定する。)

(佐久間委員長)

それでは、安部委員に委員長をお願いいたします。そうすれば委員長職務代理者はどうしますか。

(畠山教育総務課長)

今、委員長を安部委員に決定していただきました。ありがとうございます。安部委員が職務代理者になっておりますので、職務代理者を決めるための追加提案をさせていただきたいと思いますので、皆さんの方で職務代理者の決定をお願いいたします。

—暫時休憩・追加提案資料配付—

(佐久間委員長)

会議を再開いたします。会議の次第の変更について皆さんにお諮りしますが、配付しました「仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について」を追加して進めたいと思いますが、ご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

異議がないようですので、「仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について」を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山教育総務課長)

先ほど委員長を決めていただきました。次は職務代理者を決めていただきます。委員長職務代理者の任期は1年あるということで、職務代理者を決めていただきたいと思います。

(佐久間委員長)

説明が終わりました。委員長職務代理者の選任の方法は先ほどと同じでよろしいですか。

(畠山教育総務課長)

教育委員長と同じように、無記名投票選出、指名推薦とあります。

(佐久間委員長)

ただ今事務局より説明がありましたが、委員長職務代理者についても投票、推薦による方法がございますが、方法についてお伺いいたします。

(熊谷教育長)

推薦が良いと思います。

(佐久間委員長)

それでは、推薦ということでご異議ございませんか。

—異議なし—

(佐久間委員長)

異議なしということで、職務代理者には指名推薦方法で選任することに決定いたします。推薦について発言を求めます。

(指名推薦により河原田委員が、教育委員長職務代理者に決定する。)

(佐久間委員長)

それでは、河原田委員に委員長職務代理者をお願いいたします。

以上で、案件については終わりましたが、12月1日から教育委員長になられます安部委員からご発言をお願いいたします。

(安部委員)

先ほど佐久間委員長から当選しましたという一言がありました。今までと同じように開かれた教育委員会で、活発な意見を交わしあえて、そのことが皆さんにも活動する良い委員会事務局になってくれれば良いなと思います。どこそこを重視する訳ではありませんが、義務教育の充実が何より大切だと思っております。特別なことはいらないので、普通なことを地道にきっちりやってもらえるように、私達も意見を出していかなければいけないと思います。今日ここにいらっしゃる参与の皆さんにも、そういう意味でご協力をお願いしたいと思います。学校教育を通して人間を育てることが、何より大事だと思います。凶らずも重職で、いままでと違って不安もありますが、私なりに一生懸命頑張りますので皆さんよろしく願いいたします。

—拍手—

(佐久間委員長)

それでは、会議に移ります。

(畠山教育総務課長)

委員長、委員長職務代理者ありがとうございました。確認ということですが、佐久間委員長の任期が11月30日でございます。新しい安部委員長、河原田委員長職務代理者の任期につきましては、平成25年12月1日から来年の11月30日までとなりますので、よろ

しくお願いいたします。

(佐久間委員長)

そのほかに入ります。いじめ・不登校対策についてお願いします。

(鈴木北浦教育文化研究所長)

最初に10月の不登校の児童、生徒の状況でございます。合計は小学校3人、中学校9人の12人です。いじめについてですが、1件報告がございました。

(佐久間委員長)

報告が終わりましたが、ご質問ありましたらお願いします。

不登校率は、仙北市は何パーセントですか。

(鈴木北浦教育文化研究所長)

実数で出していますので、12人ですので1パーセントはいきません。

(佐久間委員長)

ほかにご質問ありませんか。

(安部委員)

この前不登校の子が復活したのは、すごいことだと思います。その間に随分学校の担任の先生、保護者等関係機関が、相当努力をしないと短期間に保健室登校とはいえ中々そうはいかないので、頑張りに敬意を表したいと思います。

(佐久間委員長)

ほかにご質問ありませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

安部委員より要望がありまして、私達委員も予算の意見、要望があった場合は、会議のとき発言をお願いします。それでは、平成26年度仙北市一般会計の教育費の要求概要について説明をお願いいたします。

(畠山教育総務課長)

それでは、平成26年度の各課の主な予算要求概要でございます。各課の方から概略を説明していきます。なお平成26年度の予算の締め切りは12月6日ですので、盛んに見積もり等要求しているところでありますので、場合によっては変更の可能性もありますのでよろしくをお願いいたします。

(各課、機関長が平成26年度の主な予算要求概要について、資料に基づき説明する。)

(佐久間委員長)

説明が終わりました。委員の皆さんには、意見も含めて何かご質問ございませんか。

(安部委員)

今説明を聞きましたら、莫大な事業にお金を掛けて色々なことをやっているんだなと思いました。今回委員長にお願いをいたしまして、来年度の予算編成をする前に、どういう予算編成をするのか聞いておきたい、そして私達委員も色々な要望とか地域の声とかを承っておりますので、そういう声が充分反映されているかどうか、反映されていないものについては是非そういうお願いもしてみたいとお願いをしたところ、事務局の皆さんには大変なご難儀をかけましこのような資料を作ってくださいありがとうございます。これで私達も少しは、来

年度の予算編成に主体的にかかわることができたと実感を持っています。そういう意味では、教育委員会にとっては画期的な今日の会議ではないかなと思って感謝するとともに、私達もそれなりの覚悟を持って、今後検討させていただかなければ、いけないなと思っています。このほかに私から一つだけ、途方もない夢になるかもしれませんが聞いていただきたいと思います。今年の4月か5月の教育委員会でお話したのですが、市の文化財課について、今は桜とか伝建群に偏って、本来文化財課というのは、もっと視野を広げて仙北市の文化財の育成、保存していかなければならないと思います。これについては、教育長からもっともお話であると言われ、しかし人もいないし金もないというお話でした。そうだとすれば、それなりの予算を要求して、名実共に文化財課という状況になるように努力をしなければいけないのではないのでしょうか。今のままだと、偏りがありすぎるのではないかと思います。三地域に共通している文化財は、民謡の宝庫であるとか、縄文遺跡が各地にあり、直接的に何かをしなくても文化財マップのようなものを作成するとか、このことは観光にも「縄文のふるさと」というキャッチフレーズでも充分通用するだけの場所がある訳です。是非新しい視点で、文化財を見つめてもらう事業を展開してもらえば、将来私の夢としては、クニマス館の将来の設立にも大きな役割を果たせるのではないかと思います。あともう一つは予算と関係ありませんが、教育長と部長にお願いしたいことは、5年後までに社会教育の中期計画で中央公民館構想ということが出ております。どういう構想で中央公民館を設置するのか、各公民館で積極的な活動をしておりますが、それを統括する一本筋の通った公民館活動の中で、それぞれが特色のある活動をすれば良いと思います。これから組織の再編とか職員の増減とか大変な問題があると思いますが、取り組んでいただきたいなと思います。

(熊谷教育長)

文化財課につきましては、おっしゃるとおり偏っているなというのは、色々な地域から言われております。ただ文化財課が、この人員の中で素晴らしいレベルのものをやっており、一杯一杯ではないかと思われまます。しかし、おっしゃるようなことはやっていかなければならないと思います。文化財課としてアプローチしていくこともありますが、北浦教育研究所も少しかかわるということで、ここにも上げておりますが、ふるさと仙北学というものを来年冊子で出す予定です。これまで積み重ねてきた色々な文化を冊子にして、その中で縄文、民謡、クニマスなども取り上げていくつもりであります。

(佐久間委員長)

ほかにありませんか。

(坂本委員)

今の安部委員の大きな夢に対して小さい夢なんですけど、昨年からずっと言い続けたことで何とか実現したいと思っていることがあります。マーチングの合同発表を、仙北市内のたくさんの方が取り組んでいますので、それを一同に会して市民に見てもらえる事業を是非やってほしいと思っております。先日、角館中の定期演奏会に行ってきましたが、そこの角館小のドリームハーモニーがゲスト参加をし、非常に良い演奏をしていました。アートdeまちあるきのときにもしたようです。是非それを多くの方に、実際のマーチングというものを見ていただく機会を持っていただけないかと考えております。もう一つ田沢湖給食センターに質問ですが、お茶碗を購入するということになっておりますが、お弁当箱の学校はいくつありますか。

(稲田田沢湖学校給食センター所長)

今は仙北市ではありません。田沢湖だけ9月までは赤い弁当箱でしたが、今は米飯組合にお願いをしています。

(坂本委員)

そうすると今お茶碗を購入するとはどういうことですか。

(稲田田沢湖学校給食センター所長)

現在は茶碗がないので、前に使用していた弁当箱に盛ってもらって我慢をしてもらっています。

(坂本委員)

はいありがとうございました。

(田口次長兼教育指導課長)

マーチングのことは頭の中にずーとあって、各関係者には働き掛けているところであります。まず個々には、そうした形で保護者、地域の方に披露する機会を持っています。角館で坂本委員がおっしゃったように、交流のある地元の小学校とタイアップしながら一緒に友情出演の形で、合同の演奏会を開いたりと各地域ではやっています。各学校にかなり協力してもらっておりますが、引き続き要請して参ります。

(田中部長)

かなり昔の経験ですが、父兄をやらせていただいたとき、私の子ども達もかなり発表させていただきましたが、原動力となったのは、学校ではなくて父兄会としてやっておりました。父兄会に働き掛けるということも大事ではないでしょうか。

(佐久間委員長)

ほかに何かありませんか。

—質問なし—

(佐久間委員長)

次に会議録のホームページ掲載についてです。

(畠山教育総務課長)

資料をご覧ください。今回は9月定例会会議録のホームページ掲載案でございます。誤字、脱字、表現等相応しくないところがあれば、削除するなり追加説明するなりしたいと思います。

—資料説明—

(佐久間委員長)

皆さんお気づきの点は、今月一杯まで電話でも結構ですので教育総務課までお知らせください。

次回の会議の日程はいつでしょうか。

(畠山教育総務課長)

来月12月26日(木)で午後3時30分から、場所はここです。

(佐久間委員長)

この前の仙北市の学校教育について、田口次長の方から、資料が提出されていますので説明をお願いします。

(田口次長兼教育指導課長)

すみません。その前に1件報告事案があります。公用車の事故報告でございます。

(田口次長兼教育指導課長が、公用車の事故について報告する。)

前回の定例会において、委員長から指示がありました小学校のスポーツ少年団の各校の加入状況、中学校の部活動を一覧にまとめたものでございます。

—資料説明—

(佐久間委員長)

質問はありませんか。いずれこれからの学校教育の資料に綴じててもらって、これからのたたき台にしてもらいたいと思います。

各所属長の皆さん大変お世話になりました。長い間本当にありがとうございました。ご協力いただきまして、感謝を申し上げまして、お礼の言葉といたします。

—拍手—

これをもちまして11月定例会を閉会いたします。

7 閉会宣言 平成25年11月21日 午後4時45分